

令和3年8月17日	
所属	生活安全課
所属長	木下 禎章
電話	06-6489-6502

特殊詐欺犯を撃退！“尼崎特殊詐欺防衛隊”を結成

阪神間を中心に多発する特殊詐欺を防止するため、尼崎市では、警察、防犯協会との連携チーム「尼崎特殊詐欺防衛隊」を結成、コンビニ・金融機関とも協力して、特殊詐欺を直接撃退する対策に取り組みます。

なお、今回の取組は兵庫県内の他の自治体では先例がなく、全国的に見ても先進的な取組となっております。

1 事業内容

特殊詐欺(特に還付金詐欺)は、犯人がカモリストと呼ばれる名簿を活用し、被害者宅に予め電話(アポ電)をかける傾向があることに着目し、110番通報により情報を得た警察が、迅速に市に警戒地域の情報提供を行い、市は防犯協会と協力して同地域内にある無人ATM前に向かい、被害者と思われる人物に声掛けを行い、特殊詐欺を直接撃退する新たな対策に取り組みます。

また、同時に警戒地域内の銀行やコンビニなどにも市から情報提供を行い、ATM管理者自らがATM前の携帯電話使用者への声掛けを強化することで還付金詐欺の抑止を図ります。

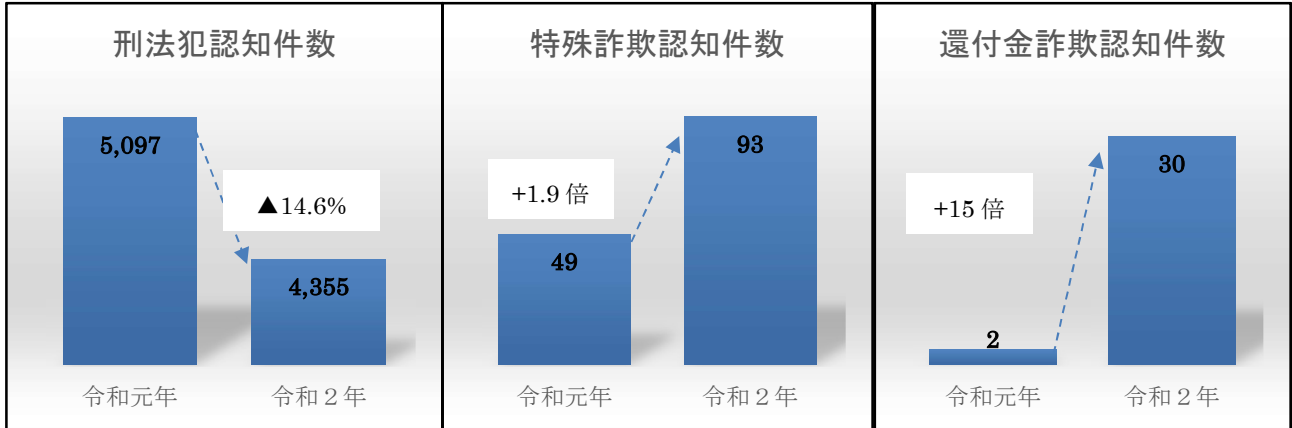
事業イメージ



※市内には金融機関やコンビニエンスストア、商業施設等を合わせて370箇所以上のATMが存在しており、それらの位置情報を予めマッピングすることで、迅速で機動的な警戒を行います。

2 本市の特殊詐欺の傾向

尼崎市内で発生している刑法犯認知件数は、平成24年以降8年連続で減少しています。一方で、還付金詐欺のように、被害者と対面することなく犯行に及ぶ匿名性の高い犯罪については、犯行を容易に反復することができることから、今後も被害が拡大する傾向にあると推測しています。本市においても、令和2年の特殊詐欺認知件数は前年と比較し2倍近く増加しており、その中でも最も多く増えているのが還付金詐欺となっています。



3 特殊詐欺の類型別 防犯ポイントと対策

	還付金詐欺	預貯金詐欺 キャッシュカード詐欺盗	オレオレ詐欺	架空料金請求詐欺
	ATMでお金を振り込む	カードを受け取る	現金を受けとる	サイトなどで嘘の債務を負わせる
防犯ポイント	ATMで電話で指示して、振込み操作をさせる	受け子がカードを取る(自宅)	受け子が金を取る(自宅他)	プリペイドカードを購入させる
特徴	・名簿や誘導するATMにより、ある程度地域が絞られる。 ・ダメなら次々と電話するため、連続して発生しやすい。	・取りに行く受け子の行動範囲が絞られる ・現場(自宅)の下見が行われる ・現場近くに居ると警察に捕まるので、受け子は犯行後逃走する。	・受け取り場所に来させるため、ある程度地域が絞られる ・受け取り場所の近くに居ると警察に捕まるので、受け子は犯行後逃走する。	偽サイトや嘘メールで罠をしかけるため、いつ、どこで発生するかわからない。
犯行地域が限定的	△	◎	○	×
連続発生の可能性	◎	△	△	×

	還付金詐欺	預貯金詐欺 キャッシュカード詐欺盗	オレオレ詐欺	架空料金請求詐欺
対策	・ATM前で携帯電話を使用している人に声をかける。	・発生場所を中心に、広報車により、密度の高いパトロールを行う。	・発生場所から最寄り駅間を中心に、広報車により、密度の高いパトロールを行う。	・コンビニ等のプリペイドカード販売時に、店員がチラシを渡し、声掛けをする。

以上